

# しょう かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



国体総合開閉会式・  
障スポ開閉会式  
式典アシスタント  
福井県越前若狭の観光宣伝隊

## 竹内 麗奈

### 「しあわせ」な経験

私は、福井しあわせ元気国体・障スポにおいて、両大会の開会式と閉会式の式典アシスタントを務めさせていただきました。福井県では50年ぶり2度目の国体開催で、開催までのカウントダウンとともに県全体がどんどん盛り上がっていくのを感じる中、私達式典アシスタントの練習が始まりました。どのタイミングで動き、誰をご案内するのか、自分の役割と式典の流れを一つ一つ確認しながら、練習を重ねていきました。はじめは、動きが揃わないこともありましたが、国体の開催前には式典アシスタント全員が自信を持って動き、ぴったりと揃うようになっていきました。そして、本番当日。式典会場の9.98スタジアムの満員となったスタンドの観客を目の当たりにし、練習通りにできるのだろうかと思わず不安に思う気持ちもありました。それでも、練習してきた自分を信じ、式典ステージに上がってみると、全国から集まった選手の皆さんの溢れんばかりのやる気と、観客席の皆さんの選手の活躍を期待する気持ちを前後から強く感じました。皆さんの熱い気持ちに私も励まされ、無事式典アシスタントとしての務めを果たすことができました。式典アシスタントとして両大会に携われたことは、私にとって人生で一度しか経験できない貴重で「しあわせ」な経験となりました。この機会をいただけたことを心から感謝します。ありがとうございました。



国体旗・大会旗保持行進者  
日本ボーイスカウト福井連盟  
福井第7団 ローバー隊所属

## 大畑 颯人

### 福井しあわせ元気国体の国体旗旗手を務めて

私は今回、福井しあわせ元気国体の国体旗旗手を務めさせていただきました。私はこの福井国体の式典スタッフに名乗り出る際、裏方の仕事をやるのだろうかと思いながら名乗り出ました。練習初日に「国体旗の旗手をお願いします」と言われ、正直こんな大役を僕が引き受けていいのかとの気持ちが強かったです。50年に1度の大役、さらに天候の関係上練習で国体旗を持つことができず一発本番でやらなければいけないということでも緊張しました。当日もあいにくの天候でしたが、国体旗を掲げ堂々とした行進ができたと思います。地元開催の国体で大役をやり遂げることができた経験は私にとって一生の宝物です。

最後になりましたが、私を旗手として推薦してくださったボーイスカウト福井連盟の方々、旗手としての役目を全うできるよう指導してくださったスタッフの方々にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



国体総合開閉会式・障スポ  
開閉会式 プラカード  
一般社団法人  
ガールスカウト福井県連盟  
第9団レンジャー

## 長野 菜七

### 凜として雨の中を行進

福井しあわせ元気国体総合開会式は、降りやまない雨の中ではじまりました。それでも私たちの気持ちは、不思議に雨だからと沈むことはありませんでした。雨であっても絶対素晴らしい入場行進をしようと、雨に濡れて重くなっていくプラカードを支えながら、晴れ晴れとした気持ちで入場行進を待っていました。練習は、真夏の猛暑か雨の中でしたが、私たちはガールスカウトらしく規律と責任を持ち、仲間で頑張ってきたのだから自信がありました。

開会式スタートは、先頭にボーイスカウトが大会旗を持ち、その後に私たちが持つ大会名プラカードが続きます。背筋を伸ばし、足を高くあげ、笑顔で最後まで行進することができました。とても、自分が誇らしく思えました。ご指導いただいた関係の皆さんには、私たちの体調を最後まで心配して下さいました。ありがとうございました。生涯忘れられない経験ができて、私たちガールスカウトは「しあわせ」です。



障スポ開閉会式  
式典補助員  
(会場係 丸椅子担当)  
県民参加イベント出演者  
啓新高等学校

## 上野 瑠美

### 「感謝」と「感動」の栄光

私は50年ぶりの「福井しあわせ元気大会」で式典補助員として参加させていただきました。私たちは丸椅子並べと手話ダンスを披露しました。丸椅子並べはどれだけ素早く綺麗に並べることができるか問われていました。縁の下の力持ちという言葉はまさにその通りで、選手のみなさん、役員のみなさん、ボランティアの皆さんそれぞれの役割がある中、私たちは式典をより良いものにするため全力で取り組みました。

手話ダンスでは、最高の晴れ舞台で最高のパフォーマンスを披露することができ、やりがいと達成感を感じました。また会場の皆さんにも元気と笑顔をお届けすることができ幸せに思います。

このような貴重な経験は誰でも簡単にできるものではないと思うので、こうして今年の国体・障スポに福井県民の一人として参加できたことに感謝します。また、選手の皆さんの元気と幸せそうな笑顔、パワーのある競技を観てとても感動しました。

来年は、茨城で国体・障スポが行われます。地元ではなくとも、国民として貢献していけたらと思います。



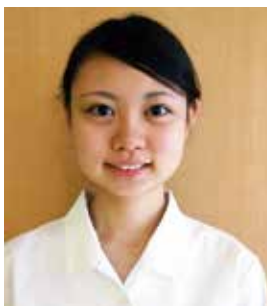
国体総合開閉会式・  
障スポ開閉会式  
式典音楽隊(吹奏楽隊)  
福井県立武生商業高等学校  
吹奏楽部

## 宮田 美輝

### 式典音楽隊に参加して

私達武商吹部は、式典音楽隊として参加しました。1年以上前から楽譜をいただき、式典演技の振付けも加わり、北陸高校と県警音楽隊の皆さんと一緒に練習を始めました。最初は音も振付もバラバラでしたが、本番に近付くにつれ音も気持ちもだんだん合うようになってきました。

私は、選手の方々に勇気や元気が湧いてくるような演奏を目標にしていました。しかし国体の開会式の日にはひどい雨で、演技はできましたが演奏は一切できず、雨水の冷たさよりも、悔しさで胸がいっぱいでした。その雨の中を各県の選手の方々が笑顔で堂々と行進する姿は感動的で、逆に私達が勇気をもらいました。一方、閉会式と障スポの開閉会式は天候に恵まれ、思いっきり演奏することができ、これまでの苦労も忘れるほどの充実感を味わうことができました。音楽隊で演奏したことは私の誇りです。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



国体総合開閉会式・  
障スポ開閉会式  
式典音楽隊(合唱隊)  
仁愛女子高等学校  
コーラス部

## 高橋 夏帆

### 忘れられない大雨と青空と人の力

私たちは50年ぶりの福井国体に合唱隊で参加させていただきました。春から団体ごとに練習し、夏からの全体練習では140人の一般の方々、60名の高校生が一堂に会しました。初めは戸惑うこともありましたが次第に一つの合唱団になっていくのを感じました。

こうして迎えた初めての本番である国体開会式当日はあいにくの大雨でみんなカッパを着ての本番となってしまいましたが、その後の国体閉会式・障害者スポーツ大会の開閉会式は天候にも恵まれ、今までの集大成となる清々しい式にすることが出来ました。本当にたくさんのボランティアや役員の方々にお世話になり、その方々のお支えがあってこそ私たちが歌えるのだと改めて感じました。

これだけ多くの方の力の結集である国体を経験できて幸せでした。

# しょ かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



競技補助員  
福井県立福井農林高等学校

## 蟹瀬 帆海

### 感動に出会えた福井国体

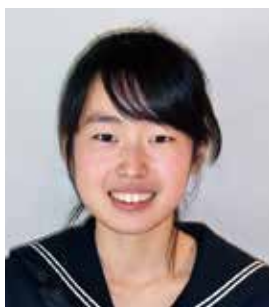
「福井しあわせ元気国体2018」で、福井農林高校の生徒が馬術競技の運営補助をすることになりました。私は、式典補助の競技補助員として静岡県にある御殿場市・馬術スポーツセンターで行われた本大会とプレ大会に参加しました。

事前説明会で、従事する業務の内容、馬が繊細な動物であることなどの説明を受けましたが、馬術競技がどのような競技なのかも分からず、緊張と不安でいっぱいでした。

大会当日、選手や運営する人、そしてたくさんのお客さんが全国から集まりました。選手は、270人、馬は174頭が出場したそうです。そこで私は初めて、選手と馬とが一体となって優雅に障害物を飛び越えていく姿を見ました。

大会中、私は先輩や同級生と協力して、担当の業務を正確、丁寧になすことを心がけました。種目表彰式では、賞状がとても重くて、落とさないように細心の注意を払いました。

こうして福井国体を通し、多くの人達と協力して大会を運営することで、福井県と静岡県が「おもてなし」の心でつながったことを実感しました。他では決して得られない感動と体験ができ、参加して良かったと思います。



障害スポ競技補助員(陸上)  
福井県立高志高等学校

## 三田村 幸菜

### 福井しあわせ元気大会補助員を終えて

私は9.98スタジアムで行われた全国障害者スポーツ大会陸上競技会に3日間競技補助員として参加しました。私は陸上を始めて2年の身ではありますが、正直、障がいを持っている方をサポートして「あげる」のだ、という考えでこの大会に参加しました。

しかし、それはとんだ思い上がりであったと、この大会に参加して気づかされました。走り切った選手の方々は誰もが全力を出し切っていて、中には感情を抑えきれず涙を流している方やガッツポーズをしている方もいました。そこにあったのは、障がいを持っているとか、そういうことに関わらず自分の力を最大限出し切るという素晴らしい姿でした。この方たちは、私が見習わなければならぬものを持っている。私は心を突き動かされました。

今回の福井しあわせ元気大会に参加させていただき、私は単なる補助員としてだけでなく、1人の人間として多くのことを学ばせていただきました。障害者スポーツ大会は普段生活しているだけでは気づくことのできない大切なことに気づかせてくれる大会だと思います。この障害者スポーツ大会が今後受け継がれ、もっと多くの方がこの大会に関わり、様々な学びを得られることを願っています。



障害スポ競技補助員  
(グランドソフトボール)  
仁愛女子高等学校

## 中村 朱里

### みんなでつくれた福井国体・障スポ

私は50年振りに開催された福井しあわせ元気国体・障スポにボランティアとして参加させていただきました。主に開会式と閉会式の準備、グランドソフトボールの競技補助員をしました。グランドソフトボールでは、障がいがありながらも一つ一つのプレイに全力を尽くしている選手の方々に感動しました。同じスポーツでもソフトボールのルールとは違い、音を頼りにプレイしており、みんなで声を出して楽しそうにしている姿を見て、私も楽しい気持ちになりました。障がいの有無は関係なく、スポーツを楽しむということはとても大切なことだと思います。スポーツは人と人とを繋げる架け橋になると感じました。

閉会式の準備の日はとても暑く大変でしたが、お見送りの際には選手の方々に「ありがとう」「とても楽しかった」「また福井に来るね」と言っていただきました。その言葉で今までの疲れが吹き飛び、頑張ってきたよかったと思いました。選手の方々が帰って行く姿を見て、この福井国体・障スポもこれで終わりなんだと、とても寂しい気持ちになりました。人生で数回しか出逢わない福井国体・障スポに携われたことを誇りに思います。福井国体・障スポで学んだことを今後の生活にも生かし、もっとたくさんの方々と接していきたいです。また、機会があればもう一度国体・障スポのボランティアに参加したいです。

最後になりますが、来年、茨城県で開催される「いきいき茨城ゆめ国体・障スポ」の成功を期待しています。



国体総合開会式  
都道府県応援団  
福井市立社北小学校

## 浅田 愛華

### 私の大切な宝物

50年ぶりに福井で国体が開催され、とてもうれしく思いました。私は、都道府県の応援団結成式で認定書を受け取りました。受け取った瞬間、全力で応援しようと心に誓いました。

当日は、台風の影響で小雨がずっと降る中、「アスリートたちへ贈る賛歌」をテーマに、式典演技が行われました。恐竜の衣装を着て、フィールドをとび跳ねていたり、フィールド中央のステージ下部から白い布が引き出され、県花の「水仙」が現れる演出がなされたり、福井のよいところを伝えてよかったです。

その後、いよいよ私たちの出番になりました。私は、都道府県応援団として、福井県だけでなく、入場された各都道府県の選手に届くように、大きな声で応援をしました。選手の方々が笑顔で旗を大きく振ってくださったので、とてもうれしかったです。

今回は、貴重な経験をさせていただきました。私にとって福井国体の記憶は、大切な宝物です。



障スポ開会式  
都道府県応援団  
福井市立社中学校

## 丸山 和香

### 障害者スポーツ大会開会式

都道府県応援団として開会式に参加してきましたが、学校で練習してきた応援がきちんと選手の方々に届くか心配でした。しかし、私たちの声援に対して、選手の皆さんは、笑顔で手を振ってくださって、なんだか心が温かくなりました。私も気づけば夢中で声援を送っていました。

私たち応援団は、選手の方々と一体になれたような感じがして、とても楽しい気持ちになりました。選手の方々の表情からも、同じように感じてくださっていたようで、心がつながる障害者スポーツ大会となったなと思いました。

障害者スポーツ大会を間近で観戦できたことで、障がい者の方々が、健常者と変わりなくスポーツに参加されていることを身近に感じました。障がい者の方々とも、心を込めて接すれば、理解し合えるということが分かりました。機会があれば、今度は一緒にスポーツを楽しみたいです。



運営ボランティア

## 出倉 加津代

### 目いっぱい楽しんだ福井国体 感動をありがとう

運営ボランティアとして、6日間様々な活動に参加しました。業務内容は、スタッフの方が丁寧に手際良く教えてくださったので、スムーズに楽しみながら活動できました。

選手はもとより、応援や観戦に来県された方々と触れ合うことができ、多くの方から「福井はご飯がすごく美味しい。」といううれしい言葉を頂き、「さすが米どころ福井!」と誇らしく思いました。

天皇皇后両陛下を間近でお迎えすることができ、提灯奉迎にも参加し、経験したことのない感動に自然と涙がこぼれました。

剣道、陸上、新体操など、できるだけ観戦にも出かけました。観客の大きな声援、そして福井県の選手に送るひと際熱烈な応援・拍手。会場と選手が一体になる臨場感に生で観るスポーツの素晴らしさを体感しました。

天皇杯、皇后杯を受賞し最高の形で終えた「福井しあわせ元気 国体・障スポ」。私の人生で最後になるであろう地元開催の福井国体を目いっぱい楽しませていただきました。

# しょ かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



運営ボランティア  
株式会社福井銀行  
ブランド戦略チーム

近藤 孝成

## 国体・障スポの感動に関わって

私は、ボウリング競技の環境美化係として、ボランティアに参加しました。同じ福井銀行のメンバーとともに、お花の水やりやごみ袋の回収などをしました。会場周辺はお花のプランターがたくさんあり、選手・監督の皆さまも心が癒されたことでしょう。プランターひとつとってもそうですが、多くの関係者の手によって、国体・障スポが感動あふれる大会になったのだと感じます。

また、銀行内では、私の部署が中心となり、ボランティアの募集や案内、選手の応援を行いました。初めてのことでしたし、部署の人数も少なく、特に9月に入ってからは問い合わせの電話が続いて、キャパシティを越えそうでした。でも、ボランティアや応援に参加した行員の皆さんが、いい思い出になったと言ってくれたので、やりきってよかったとほっとしています。

国体・障スポに深く関わって、忙しくも楽しい半年でした。この経験を活かして、これからも福井の発展のためにお力添えできればと思います。



親子ボランティア  
福井県立福井特別支援学校

清水 龍樹  
母  
清水 かおり

## 元気を笑顔でつないだ親子ボランティア

50年前の福井国体では、当時中学生だった祖父が開会式でマ스ゲームをしたと聞いて、僕も50年ぶりの福井国体に、母と一緒に親子ボランティアで参加しました。

車いすに乗っている僕にも出来ること。それは無料ドリンクでのおもてなしでした。紙コップを手渡しするのも難しい僕たちに、全国の選手団の方たちが、そっと一歩近づいて『ありがとう』と『笑顔』で受け取って、話し掛けてくれました。初めはとても緊張していたけれど、選手の方たちとお話していく中で段々と楽しくなってきました。僕が車いす陸上をしていることを話すと、スポーツの話で盛り上がりました！選手団の方から、「君たちの『笑顔』のお陰で『元気』をもらえたよ！ありがとう。お互い頑張ろうね。」とハイタッチを交わしました。僕も選手の方々から、『元気』を沢山いただきました。笑顔って、みんなを幸せにして、元気にするんだなあと感じました。この元気が、次期開催県の茨城へ。そして東京オリパラ2020に繋がっていくことを願っています。

最後に、車いすの僕にも国体ボランティアとして活躍出来る場を作って下さった国体推進局の皆さん。貴重な体験が出来ました。本当にありがとうございます。これを機に障がいのある人も、みんな一緒に楽しく活躍出来るが増えていくといいなと思っています。



花いっぱい運動  
福井県立坂井高等学校  
山口 歩美

## 福井が最高に輝くように

福井県下の農業系高校は、「福井国体で来県する選手を花で応援しよう」という目的で、色々な花の播種から花苗まで管理しました。育てた花は各市町村がプランターに植え、各施設等に飾り、県民全体で大会を盛り上げる活動となりました。

私たちはマリーゴールドの播種をしました。発芽率を思うと不安もありましたが、楽しく作業することができました。また大会マスコットキャラクターであるはぴりゅうも応援に来てくれて、とてもパワーをもらいました。この体験をとおして、お花に携わる仕事をする方の大変さや、喜んでいただきたいという想いなど色々学ぶことができました。

大会中私たちが育てた花は、選手や運営の方々の癒しや励ましになったと思います。大会が終わった後も、私たちが育てた花が駅などで咲いているのを見ると手伝えてよかったと改めて思います。国体を通じて貴重な体験ができ、高校生活の良い思い出となりました。